

## みえ高齢者元気・かがやきプランの策定に当たって



我が国では諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。団塊の世代が75歳以上となって介護が必要な高齢者が増加すると推計される2025年には、県内における65歳以上の高齢者人口は52万8千人、総人口に占める割合（高齢化率）は30.8%に達する見込みです。また、75歳以上の高齢者人口は31万4千人、3.2人に1人が65歳以上、5.5人に1人が75歳以上となることが予想されています。さらに、要介護者・要支援者、一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加も見込まれます。

高齢者を取り巻くこうした問題を解決するため、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」のさらなる深化・推進が求められています。

このたび、これまでの取組の検証もふまえ、「みえ高齢者元気・かがやきプラン」を改訂し、平成30（2018）年度からの3か年を計画期間とする第7期三重県介護保険事業支援計画・第8次三重県高齢者福祉計画を策定しました。

具体的には、「1. 介護サービスの充実と人材確保」と「2. 地域包括ケアの推進」を車の両輪に、「3. 介護保険制度の円滑な運営と介護給付の適正化」と「4. 元気高齢者が活躍する支え合い（安全安心）のまちづくり」で全体を下支えするという4本柱により取組を進め、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。

また、同時に改訂される「第7次三重県医療計画」とも歩調をあわせ、医療・介護連携のさらなる推進に努めます。

このプランの取組を通じて「高齢者が元気に輝きながら暮らすことができる地域」をめざしてまいりますので、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成30年3月

三重県知事 鈴木英敬

